

八条・大安寺周辺地区まちづくり基本計画 取り組み方針図（案）

【まちづくりの基本方針に対する取り組み】

- 1. 新産業創造拠点の形成
- 2. 更なる交流を創出する人が主役の交通結節点づくり
- 3. 緑・文化豊かで暮らしやすい都市空間づくり
- 4. 地域の暮らしを守る、安心・安全なまちづくり

- 奈良観光の新たな周遊起点として、自動運転やMaaS等の技術革新を取り入れた、誰もが多様な交通手段を選択できる、“人”を中心とした交通結節点の形成
- 観光・商業・飲食施設等の誘導・集積によるおもてなし空間の形成
- 多くの人が集まる駅前環境づくり
- 地域コミュニティ活動の支援、産学官民連携によるマネジメント組織等の体制づくり

- JRの高架化、新駅の整備
- 交通結節機能向上を図る駅前広場の整備

- JR新駅や（仮）奈良IC等の立体的な都市基盤施設等を活かした地域防災拠点等の整備

- 京奈和自動車道（仮）奈良ICの整備促進
- （仮）奈良ICとの接続、周辺エリアとのネットワーク向上を図る都市計画道路等の整備

- 医療・福祉施設等の誘導による健康増進の場づくり

- JR新駅前の立地環境を活かし、既存の居住環境との調和、田園環境の保全に配慮した学術研究機関や先端産業、ものづくり産業等の誘致
- 関西文化学術研究都市、県立図書館等の既存学術・文化施設との連携、誘致企業間の連携・研究の場の創出
- コワーキング・ビジネス支援機能等の導入によるベンチャー・スタートアップの支援拠点の形成
- オープンラボの導入等、地域に開かれた環境づくり

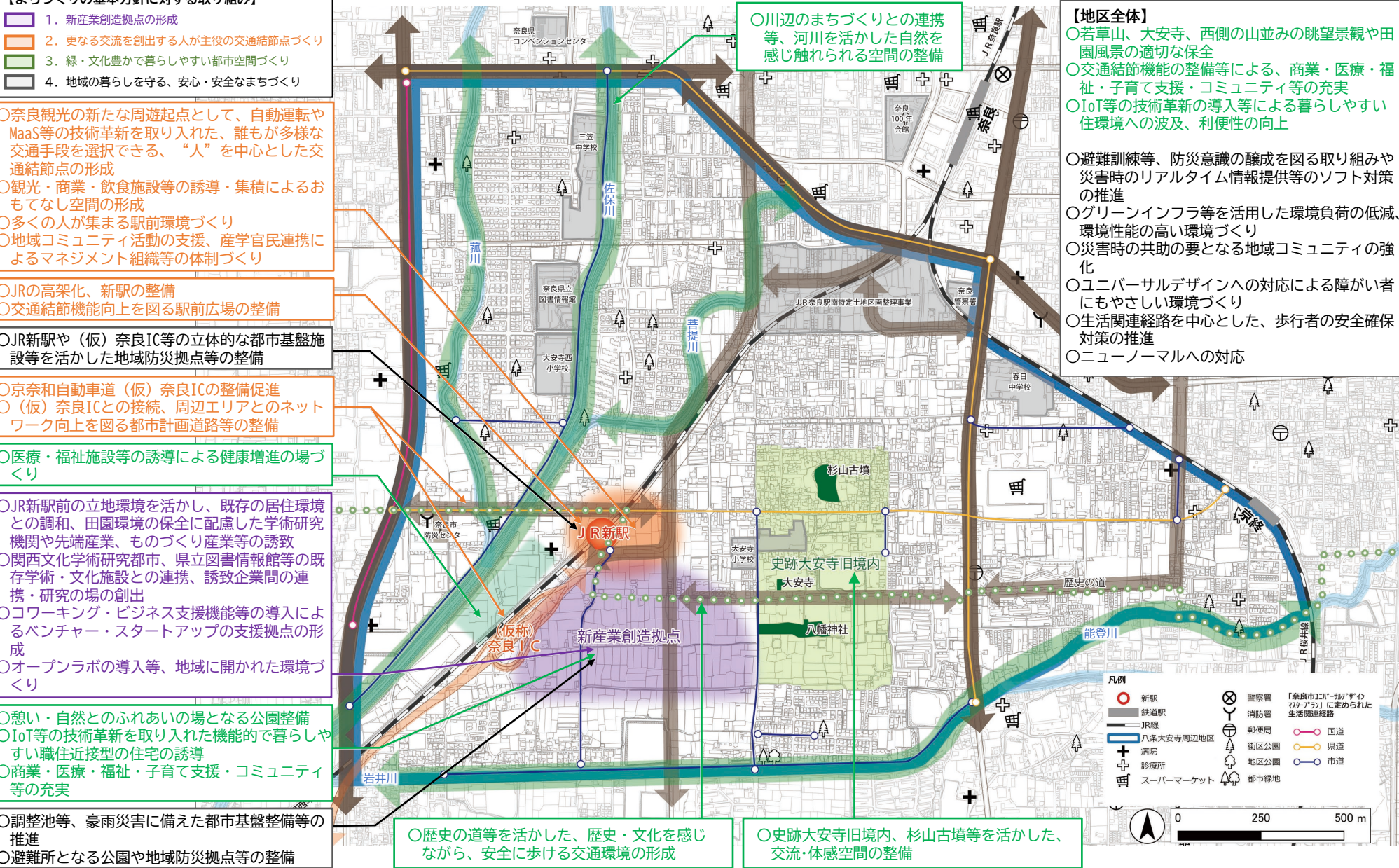
- 憩い・自然とのふれあいの場となる公園整備
- IoT等の技術革新を取り入れた機能的で暮らしやすい職住近接型の住宅の誘導
- 商業・医療・福祉・子育て支援・コミュニティ等の充実

- 調整池等、豪雨災害に備えた都市基盤整備等の推進
- 避難所となる公園や地域防災拠点等の整備

○川辺のまちづくりとの連携等、河川を活かした自然を感じ触れられる空間の整備

【地区全体】

- 若草山、大安寺、西側の山並みの眺望景観や田園風景の適切な保全
- 交通結節機能の整備等による、商業・医療・福祉・子育て支援・コミュニティ等の充実
- IoT等の技術革新の導入等による暮らしやすい住環境への波及、利便性の向上
- 避難訓練等、防災意識の醸成を図る取り組みや災害時のリアルタイム情報提供等のソフト対策の推進
- グリーンインフラ等を活用した環境負荷の低減、環境性能の高い環境づくり
- 災害時の共助の要となる地域コミュニティの強化
- ユニバーサルデザインへの対応による障がい者にもやさしい環境づくり
- 生活関連経路を中心とした、歩行者の安全確保対策の推進
- ニューノーマルへの対応



○歴史の道等を活かした、歴史・文化を感じながら、安全に歩ける交通環境の形成

○史跡大安寺旧境内、杉山古墳等を活かした、交流・体感空間の整備